

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 新居浜市立船木小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒792-0856
愛媛県新居浜市船木4299番地の1

E-mail fki-eof@esnet.ed.jp

Website http://funaki-e.esnet.ed.jp/cms/

児童生徒数 男子 177名 女子 186名 合計 363名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

1 テーマ（主題）

ふれあい ～ふるさと船木の森・自然・人～

2 主な活動内容について

(1) ふるさと船木の森・自然・人とのふれあいを活かした体験学習での取組

【1年「はっぱやみであそぼう」】

(ねらい)

- ・ 秋の自然に関心をもち、自然のすばらしさに気付き、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができる。

(活動の実際)

- ・ 池田池で色付いた落ち葉や小さなどんぐりなどをたくさん集め、秋の自然に触れることにより、葉や実の色の変化などに気付くことができた。
- ・ どんぐりごまやマラカス、けん玉など、秋の自然を利用したおもちゃを作り、友達と楽しく遊び、紹介し合う学習を行ったことで、活動が広がり自然への関心が高まった。

【2年「ときどき わくわく まちたんけん」】

(ねらい)

- ・ 身近な地域の人々や様々な場所に関心をもち、安全に気を付けて、町探検をし、地域への愛着を深めることができる。

(活動の実際)

- ・ グループに分かれ、校区内で自分たちと深くかかわっている場所や建物、自然に目を向けながら探検することができた。
- ・ 見つけたことや学んだことをまとめ、グループごとに発表することにより、自分たちの地域に関心をもつことができた。

【3年「船木のじまんを見つけよう」】

(ねらい)

- ・ 船木の自然や文化などについての課題を見付け、主体的に探究する学習を通して、地域の一員として船木の自然や文化を大切にしていこうとすることができる。

(活動の実際)

- ・ 実際に現地で調べたり、地域や家族の方からお話を聞いたりして、体験的な活動をしながら課題解決し、「船木のじまんマップ」にまとめることができた。
- ・ 課題ごとの発表会を行い、それぞれの見つけた自然のすばらしさや地域のよさを共有することができた。



(1年 秋の散策の様子)



(2年 校区探検の様子)



(3年 校区史跡巡りの様子)

【4年「心の地図を広げよう」】

(ねらい)

- ・ 障がいのある方との出会いや疑似体験・調べる活動を通して、より住みやすい町づくりのために自分ができることを考え、実践することができる。

(活動の実際)

- ・ 目の不自由な方を招き、生活の様子や思いを話していただいた。また、アイマスク体験で不安感や危険性を体感し、適切な支援の仕方を学ぶことができた。
- ・ テーマを決め、本やインターネット、聞き取りなどから情報を集め、新聞にまとめ、なかま集会で全校児童や保護者の方に発信することができた。

【5年「米作りをしよう」】

(ねらい)

- ・ 米作りに関心をもつとともに、農家の苦労や食に対する思いに気付き、日本の農業についての知識を深めることができる。

(活動の実際)

- ・ 実際に田植えや稲刈りの体験を行うことで、作業の大変さや農家の方の苦労に気付き、日本の食について考えを深めることができた。
- ・ 米づくりでお世話になった方を招いて招待給食を行い、収穫した米をともに食しながら感謝の気持ちを伝えることができた。

【6年「高齢者とふれあおう」】

(ねらい)

- ・ 高齢者についての認識を深め、福祉施設のお年寄りと豊かに交流することで、高齢者への接し方や自分の果たすべき役割を理解することができる。

(活動の実際)

- ・ 福祉施設訪問に向けて、相手の立場に立った活動内容を考えることができた。
- ・ お年寄りとの交流では、施設の方のサポートを得ながら、心温まる交流を行い、双方にとって貴重な体験とすることができた。



(4年 新聞作成の様子)



(5年 稲刈りの様子)



(6年 福祉施設訪問の様子)

(2) スクールエコ運動での取組

- ・ 全校児童の一人一人がアサガオやパンジーなどを植木鉢で育て、花で校内を美しく飾ったり、緑を増やして地球環境の保全に尽くしたりした。
- ・ 委員会活動では園芸委員会がゴーヤでグリーンカーテンを作ったり、給食委員会が残菜を減らすように呼び掛けたりするなど、環境に配慮した取組を行った。



(園芸委員会による水やりの様子)

※ 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（）